

412支保工を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	15 ～ 16	土留の作業中にバックホウでシーティングを下ろして設置した後、吊りワイヤーを外すため、サポートジャッキ1段目（高さ60cm）に上って作業していた際、足を滑らせて転落し、股間付近をぶつけ尿管を損傷した。	70	1	30201	1 ～ 9
2	2020	1	14 ～ 15	開削工事現場で、掘削および土止め支保工の設置中、水中ポンプが泥水で詰まったので点検・掃除をしようとした。少し離れた場所にあるはしごを使用せずに、支保工（2段）の横断樋管から下りようとして腹起こしに足を掛けたところ、足が滑って転落した。その際に背中を強打し、右肋骨を折り、右肩を捻挫し、胸椎を打撲した。	59	1	30110	1 ～ 9
3	2020	1	10 ～ 11	大径製管場で、型枠のキャス（端部型枠）を取り付け中、反動でキャスが左右に振られ、右手中指が挟まれ、骨折した。	33	7	10901	10 ～ 29
4	2020	3	17 ～ 18	70tクレーンで2段目の山留腹起こしを解体するため、隣の腹起こし上に乗り玉掛作業をしていた。腹起こしを吊り上げようとしたとき、被災者が乗っていた隣の腹起こしが縁切りされておらず、同時に持ち上がり、途中で落下した。被災者は、落下して、左足付け根臀部下付近を強打した。その際、左坐骨開放骨折を負った。	37	1	30199	50 ～ 99
5	2020	3	11 ～ 12	3階床スラブ（型枠）上で溶接用ケーブルを移動中、床型枠パネル端部が外れて滑り落ち、約3m下に転落して左橈骨と尺骨を折った。	20	1	30201	1 ～ 9

6	2020	4	15 ～ 16	工場現場内の砂利が敷かれた宅地盤で、下水道工事の準備で簡易土留のシーティングの切梁をプレート（20m×1.5m）に取り付け作業中に、プレートが転倒し、逃げ切れずに左足を直撃して、左足首を骨折した。	64	5	30109	1 ～ 9
7	2020	5	16 ～ 17	資材センターでパイプサポートの整備をしていたとき、足をひねって転倒した。そのとき、パイプサポートの山に勢いよくぶつかり、右の脇腹と転倒した反動で頭をぶつけ、右外傷性血気胸および右多発肋骨骨折を負った。	59	19	30201	10 ～ 29
8	2020	5	14 ～ 15	壁枠によじ登り上にいた同僚に伐木を渡して下りた際、壁枠材が倒れて下敷きになり、右足膝を骨折、顎に裂傷を負った。	25	5	30201	1 ～ 9
9	2020	8	11 ～ 12	側枠脱型作業時、玉掛ワイヤーを取り付けるため型枠に登ったところ、本来ボルトを左右2本ずつ残した状態で作業を行うところ、別の作業員が玉掛前に1本ボルトを外してしまい、重さで型枠が傾き、型枠の下敷きとなり骨盤部を折った。	27	5	30111	10 ～ 29
10	2020	8	8 ～ 9	製造作業場で、前日に制作した製品を型枠から脱型をし、型枠表面をきれいにした後、脱型を容易にするための油をノズル噴霧器により吹き付けた。その際、塗布した油をモップで型枠全体に広げる作業中、型枠端部の鋭角な部分に手の指、側面をこすりつけて、左手小指に創傷を負った。	30	8	10909	30 ～ 49
11	2020	8	16 ～ 17	現場で同僚3人と支保工を解体していたとき、上部梁材の横梁と縦梁の連結ボルトを外したところ、横梁が縦梁の上で滑った。その際、左手首を挟んで骨折し、左手と肘に打撲傷などを負った。	64	7	30106	10 ～ 29
12	2020	9	10 ～ 11	工場内で、高さ1m位の型枠の上から生コンを流す際、足を踏み外して型枠の角に腰をぶつけ、右側の骨盤を折った。	68	1	10901	10 ～ 29
			8	工場内門型作業棟でコンクリート製品である電線共同溝の型枠を分解する作業中、端部の仕切り版（端板）の固定ピンを外す工程の中				30

13	2020	9	～ 9	で、通常は、クレーンで端板が倒れないように予め吊っておく工程を省略した。そのため、ピンを外したと同時に端板も外れて倒れ、避け切れず左足を端板に巻き込まれ、左足踝付近3箇所を骨折した。	45	5	10901	～ 49
14	2020	10	～ 11 12	ピット部の型枠を解体中、型枠材を移動していたところ、ピットへ足を落として転落し右手中手骨を折った。	28	1	30199	1 ～ 9
15	2020	10	～ 14 15	型枠底版取り付けネジ外し作業中、底版が倒れ床面の間に左足を挟み、足首を骨折した。	20	4	10901	30 ～ 49
16	2020	12	～ 12 13	事業場で、2階作業場から1階事務所へ移動中、階段の下から2段目より1段目へ下りる際、下り切ったと勘違いして踏み外し、左足裏を強くついて腓骨骨折を負った。	36	3	170209	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。